



2026年6月19日

各 位

会 社 名 株式会社一寸房
(コード番号 7355 TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役社長 上山 哲正
問合せ先 専務取締役 古田 章久
T E L 011-215-0061
U R L <https://issun.jp/>

TOKYO PRO Market への上場目的の開示に関するお知らせ

当社は、2026年4月3日付で株式会社東京証券取引所より発出された通知「TOKYO PRO Market への上場目的の開示のお願い」による要請に基づき、当社のTOKYO PRO Market への上場目的及びその実現状況の評価等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場の目的

当社は、2020年10月にTOKYO PRO Market へ上場いたしました。

同市場への上場は、一般市場への上場を見据えた準備段階として位置づけ、J-Adviser の支援を受けながら、経営管理体制およびガバナンスの強化を図るとともに、企業価値の持続的向上を実現することを目的としております。

また、当社がTOKYO PRO Market への上場において掲げてきた主な目的は、以下のとおりです。

(1) 知名度・社会的信用力の向上

上場企業としての対外的信用力および認知度の向上を通じて、取引先、金融機関、株主、投資家等のステークホルダーからの信頼を強化し、事業機会の拡大を図る。

(2) 優秀な人材の確保・採用力の強化

上場企業としての信用力を背景に採用競争力を高め、優秀な人材の確保および定着を推進し、事業拡大を支える組織体制を強化する。

(3) 事業拡大および海外展開の基盤構築

TOKYO PRO Market 上場による信用力向上を活用し、国内外における事業拡大を推進するとともに、海外拠点の整備・拡充を通じて事業基盤の強化とリスク分散を図る。

(4) 従業員の処遇改善

企業成長の成果を従業員へ適切に還元することで、処遇改善およびモチベーション向上を図り、持続的成長を支える人的資本の強化を行う。

2. 上場後の経過及び効果

当社は、TOKYO PRO Market 上場後、上記の目的に沿って、各種施策を推進してまいりました。

(1) 知名度・社会的信用力の向上

上場後、上場企業としての社会的信用力および認知度の向上が進み、金融機関との取引関係の強化（コミットメントライン契約の締結等）や、新規取引の獲得および既存取引の拡大につながっております。

(2) 優秀な人材の確保・採用力の強化

採用活動において応募者数の増加および人材の質的向上が見られるほか、従業員の定着にも一定の効果が認められており、組織体制の強化が進展しております。

(3) 事業拡大および海外展開の基盤構築

国内では設備設計部門の新設に加え、ミャンマー、キルギス、ネパールへの海外拠点展開を実施し、国際的な事業基盤の強化を図ってまいりました。これにより、グローバルな事業展開の基盤構築が進展しております。

(4) 社員の待遇改善

業績の成長に応じて賃金水準の引上げ等を実施し、従業員のモチベーション向上および人材の定着に一定の効果が認められております。

3. 今後の方針

当社は、TOKYO PRO Market 上場企業としての強みを活かしつつ、今後も事業の拡大および経営管理体制の更なる強化を図り、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

また、将来的な一般市場への上場を視野に入れ、持続的成長に向けた基盤整備を推進してまいります。

今後の取り組みとして当社は、2030年までに売上高 20 億円を目指します。同目標を達成するべく、次に掲げる各種施策を推進してまいります。

①事業拡充および海外の安定化

既存事業の拡充に加え、海外拠点における収益基盤の安定化および運営管理体制の強化を通じ成長性の向上を図る。

②人材戦略の強化

採用力の向上に加え、計画的な教育・育成体制の充実および処遇改善を通じて、人材の確保と定着、組織力の強化を推進する。

③営業活動の強化

既存顧客との関係深化および新規顧客開拓を推進し、市場環境の変化に対応した戦略的な営業活動により受注確度および顧客満足度の向上を図る。

④経営基盤およびガバナンスの強化

事業規模拡大に対応した内部管理体制およびコンプライアンス体制の強化を図り、上場企業としての持続可能な経営基盤を確立する。

なお、本開示に記載した内容およびスケジュールは現時点での予定に基づくものであり、当社の今後について確約するものではないことをあらかじめご了承ください。

い。

以 上